

第2章 質問紙調査の実際

1 調査の方法等

(1) 調査概要

当センター生涯学習部で実施する生涯学習研修の受講者を対象とし、対面型研修とオンライン型（ライブ配信型）研修の学習効果について調査し、当センター生涯学習部における今後の研修の実施形態の在り方について考えるなど、生涯学習研修の充実に向けた基礎資料とする。

なお、受講者の「対面型」・「オンライン型」の受講方法による違いについての調査であり、講師の「対面型」・「オンライン型」の違いについては扱っていない。

(2) 調査内容

質問紙調査では、以下の項目について調査した。（資料「質問紙調査の内容」に、これらの詳細を示す。）

- ・基本属性（市町名、所属、年齢）
- ・学習環境
- ・学習効果（「人のつながり」に関する設問を含む）
- ・受講方法（対面型・オンライン型）に関する受講者の意識・指向（評価）
- ・学びや受講者同士のつながりの活用

(3) 調査対象

当センター生涯学習部で実施する今回の調査対象とした研修の受講者（延べ505名）。

6月20日から10月3日の間に実施した対面型研修とオンライン型研修を兼ねている延べ13研修を対象に調査。調査対象とした研修名及び各研修の開催方法、受講者数は次表のとおり。なお、全ての研修がライフアップセミナー対象。

表2 調査対象の研修一覧

| No | 日付 | 研修名 | 開催方法 | 受講者数 | | |
|----|-------|-------------------------------------|-----------|------|-------|-----|
| | | | 主研修 | 対面 | オンライン | 合計 |
| 1 | 6月20日 | 家庭教育オピニオンリーダー研修・家庭教育支援プログラム指導者研修：AM | ハイフレックス | 17 | 24 | 41 |
| 2 | 6月20日 | 家庭教育オピニオンリーダー研修・家庭教育支援プログラム指導者研修：PM | ハイフレックス | 16 | 24 | 40 |
| 3 | 6月21日 | 地域学校協働活動推進員養成研修 | 対面 | 26 | 2 | 28 |
| 4 | 7月12日 | コミュニティ・スクール推進研修 | 対面 | 54 | 5 | 59 |
| 5 | 7月17日 | 女性教育指導者研修 | 対面 | 4 | 8 | 12 |
| 6 | 7月19日 | 地域学校協働活動推進員養成研修 | 対面 | 21 | 4 | 25 |
| 7 | 8月3日 | ボランティアセミナー※：AM | ハイフレックス | 10 | 45 | 55 |
| 8 | 8月3日 | ボランティアセミナー※：PM | ハイフレックス | 9 | 44 | 53 |
| 9 | 8月28日 | 生涯学習・社会教育関係職員研修パワーアップ講座 | ハイフレックス | 0 | 16 | 16 |
| 10 | 8月29日 | 地域学校協働活動推進員養成研修 | 対面 | 27 | 4 | 31 |
| 11 | 9月18日 | 放課後活動指導者研修 | 対面（サテライト） | 76 | 7 | 83 |
| 12 | 9月26日 | 地域学校協働活動推進員養成研修 | 対面 | 26 | 9 | 35 |
| 13 | 10月3日 | 家庭教育オピニオンリーダー研修 | 対面（サテライト） | 17 | 10 | 27 |
| 合計 | | | | 303 | 202 | 505 |

※ No7及び8の「ボランティアセミナー」は、合同で開催した「地域づくりを考える！青少年ボランティアセミナー」、「地域づくりを考える！ボランティアスタートアップセミナー」、「学びによる地域づくり実践セミナー」の総称。

- ・「開催方法」は、主研修の受講者の受講方法。
- ・「ハイフレックス」は、対面型・オンライン型のいずれかを受講者が選択して受講。
- ・「サテライト」は、本会場とサテライト会場をオンラインでつないで実施。サテライト会場でも演習などを対面型と同様に受講ができるため、本調査では対面型として扱う。
- ・ライフアップセミナーはオンラインでの受講となるため、開催方法が対面型でもオンライン型の受講者が発生する。

(4) 調査方法

ベースとなる調査紙の内容を基に、「学習効果（知識・理解、スキル、関心・意欲）」について、各研修担当が研修の目的や内容に合わせて修正し、研修受講時に調査対象に質問紙を配布して研修終了直後に調査を実施した。午前・午後で研修内容が変わる場合は、それぞれの終了直後に実施した（オンライン型研修での参加者は、栃木県電子申請システムにより同様の内容を調査）。

(5) 回答数及び回答率

| | | | | | | |
|----------|------|-----|-----|-----|-----|-------|
| 対面型研修 | 調査対象 | 303 | 回答数 | 296 | 回答率 | 97.7% |
| オンライン型研修 | 調査対象 | 202 | 回答数 | 168 | 回答率 | 83.2% |
| 全体 | 調査対象 | 505 | 回答数 | 464 | 回答率 | 91.9% |
| | | | | | | ※延べ数 |

(6) 集計の処理

回答率（各回答の百分率比）は、小数第2位を四捨五入して表した。そのため、合計が見かけ上100%にならないことがある。

(7) 注意点

研修内容に合わせて「学習効果」についての質問内容を修正しているため、研修によっては、1つの調査紙の中で「知識・理解」に関する質問が2つある場合や、「スキル」に関する質問がない場合などがある。そのため、サンプル数が回答数より多くなっていることがある。

同一の人が複数の調査対象研修を受講したり、連続受講を要する研修中に複数回回答したりしているため、延べの回答数となっている。

(資料「質問調査の内容」) ※印は、オンライン受講者のみ回答

| 調査項目 (大分類) | 調査項目 (小分類) | |
|-----------------------------------|----------------------|--|
| 学習効果 ※1 | 知識・理解 | そう思う、ややそう思う、あまりそう思わない、そう思わない |
| | スキル | そう思う、ややそう思う、あまりそう思わない、そう思わない |
| | 関心・意欲 | そう思う、ややそう思う、あまりそう思わない、そう思わない |
| | コミュニケーション | そう思う、ややそう思う、あまりそう思わない、そう思わない |
| 受講方法 (対面型・オンライン型) に関する受講者の指向 (評価) | 研修の満足度 | そう思う、ややそう思う、あまりそう思わない、そう思わない |
| | 要因 | 研修の内容と受講方法の親和性(相性・なじみやすさ)、学びの深まり、講師の進め方、モチベーション、講師とのコミュニケーション、受講者とのコミュニケーション、集中できる環境、達成感、安心感、労力(移動時間・費用等)に見合った学習効果、その他 |
| 学びや受講者同士のつながりの活用 | 今後の活動への活用 | (自由記述) |
| 受講方法 (対面型・オンライン型) に関する受講者の意識 | 対面型 | (自由記述) |
| | オンライン型 | (自由記述) |
| 基本属性 | 市町名 | 〇〇市、〇〇町 |
| | 所 属 | 行政職員、教職員、地域活動実践者 (NPO 職員等も含む)、学生、その他 |
| | 年 齢 | 10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代以上 |
| 学習環境 | 受講の方法 | 対面型、オンライン型 |
| | ICT 機器に対する親和性 | 普段、インターネットを使って動画を見たり、情報を検索したりすることがある。 普段、インターネットを使って動画を見たり、情報を検索したりすることはない。 |
| | Zoom のスキル | ひととおりできる。又は得意である。 あまり自信がない。又は不得意である。 |
| | 受講のしやすさ | 特に問題なく受講できた。 受講しにくかった。(理由を選択) 提示資料が見にくかった、音声聞き取りにくかった、機器等のトラブルがあった、その他 |
| | 使用端末 ※2 | パソコン、タブレット等で参加、スマートフォン等で参加、大型のモニタ、スクリーン等に投影して参加 |
| | 休憩中のブレイクアウトルームの利用 ※2 | 利用した、利用しなかった |
| 受講日時 ※2 | 研修日 | (選択) |
| | 受講時間 | 午前のみ、午後のみ、午前・午後両方 (選択) |

※1 研修内容により、質問内容を修正

※2 オンライン型研修受講者のみ回答

2 質問紙調査の結果

(1) 基本属性

ア 回答者の居住地（市町別）

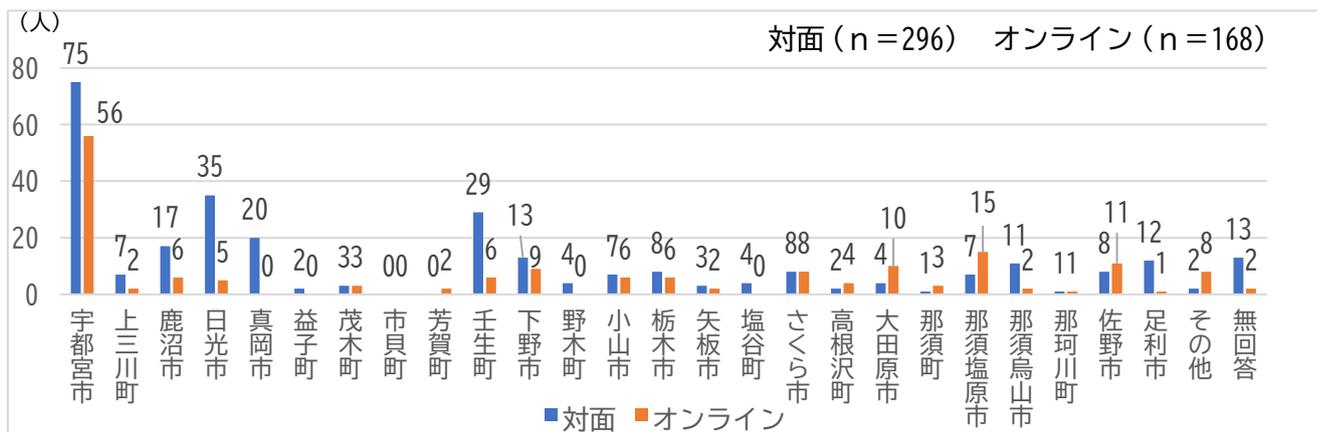


図1 回答者の居住地

・ 県内の様々な市町の方に回答をいただいた。

イ 回答者の所属等

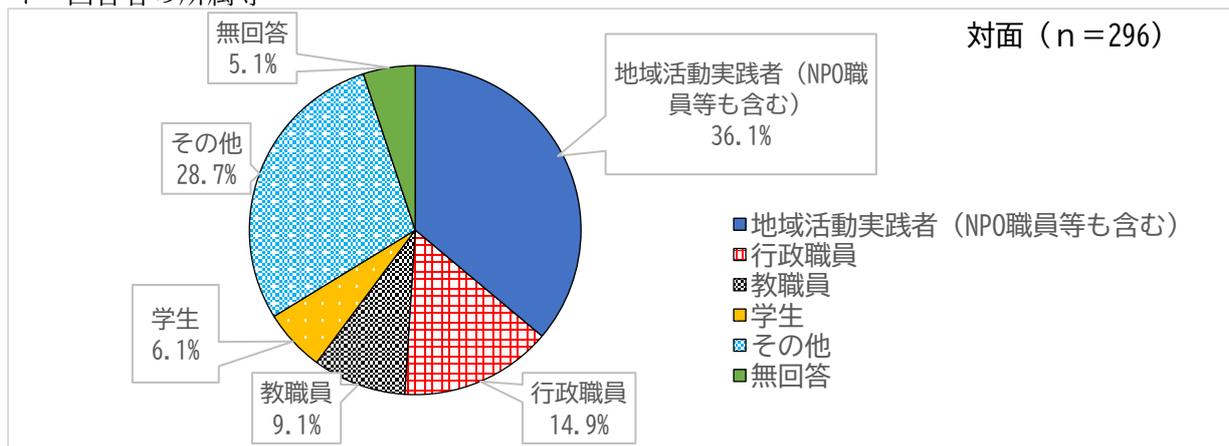


図2-1 回答者の所属 (対面)

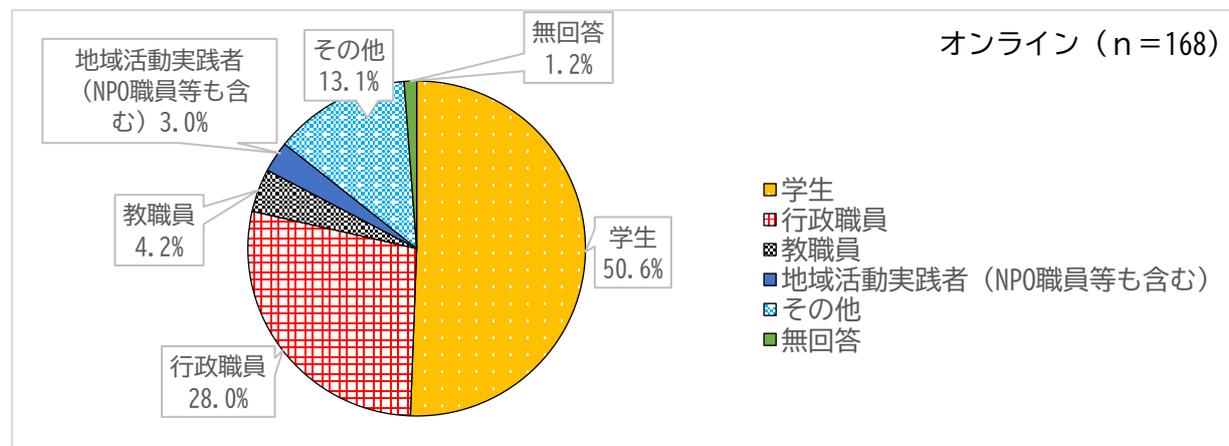


図2-2 回答者の所属 (オンライン)

・ 対面型研修での受講者は地域活動実践者、オンライン型研修での受講者は学生が最も多い。

ウ 回答者の年齢

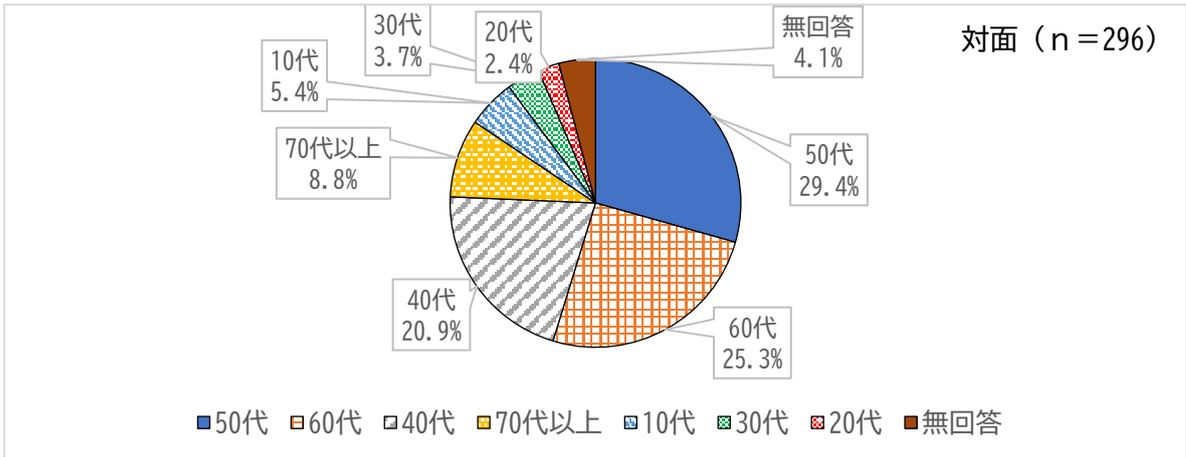


図3-1 回答者の年齢（対面）

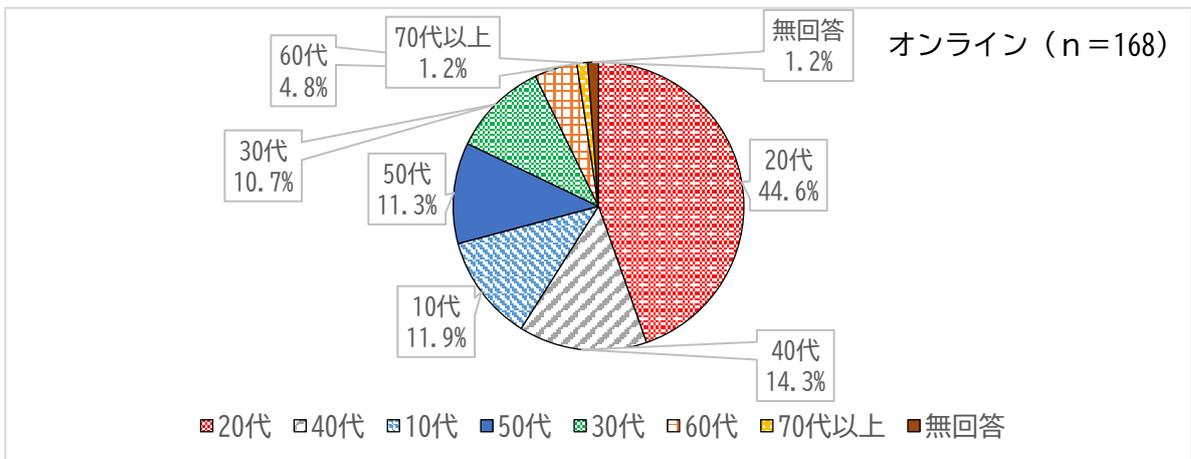


図3-2 回答者の年齢（オンライン）

・対面型研修での受講者は50代、オンライン型研修での受講者は20代が最も多い。

(2) 学習環境

ア ICT 機器に対する親和性

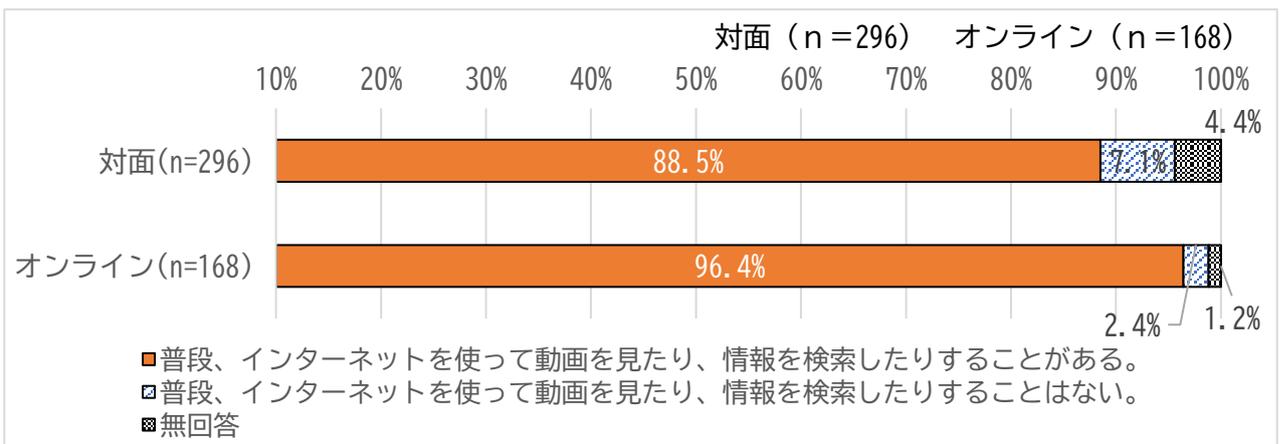


図4 普段のインターネットの利用

・対面型研修での受講者の88.5%、オンライン型研修での受講者の96.4%が、普段、インターネットを使って動画を見たり、情報を検索したりしている。

イ Zoom のスキル

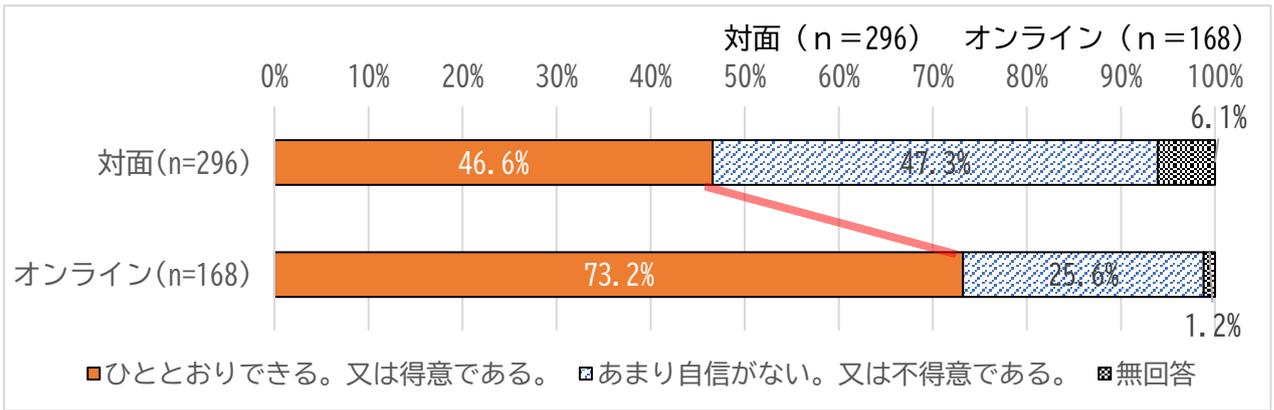


図5 Zoom のスキル

・対面型研修での受講者の47.3%が、Zoom のスキルに「あまり自信がない。又は不得意である。」と回答している。

ウ 受講のしやすさ

※対面型研修受講者用のアンケートに不備があり、複数の研修で回答が得られなかった。そのため、ここに記載することを控え、回答が得られた研修について分析の方で扱うこととする。

エ 使用端末

オンラインでの受講者が受講するのに使用した端末は次のとおりである。

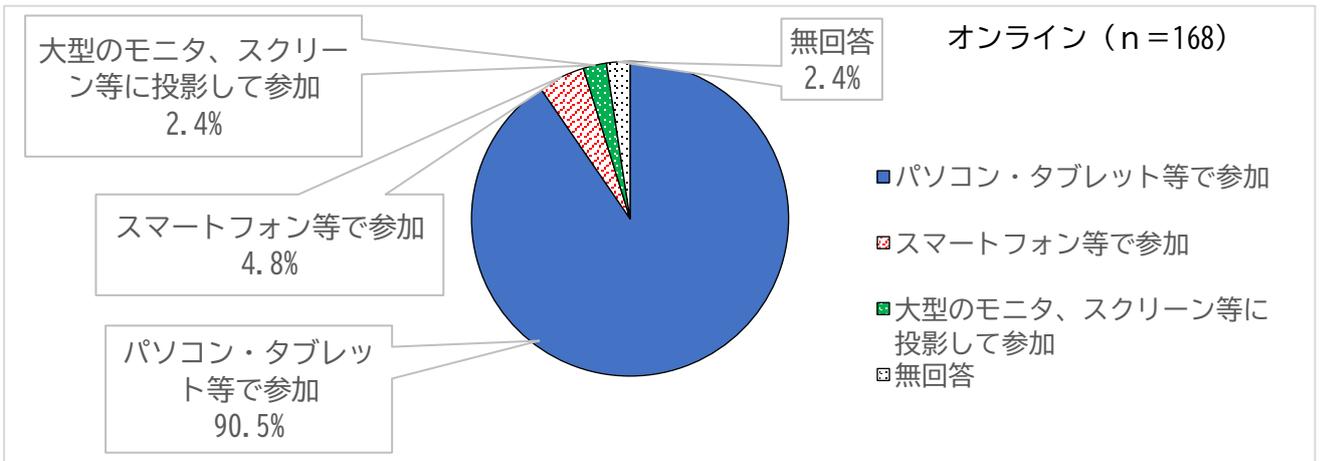


図6 オンラインでの受講者の使用端末

・パソコン、タブレット等での参加者が90%を超える。

オ 休憩中のブレイクアウトルームの利用

※研修の計画・運営に不備があり、複数の研修で休憩中のブレイクアウトルーム利用を実施することができなかったため、ここに記載することを控える。

(3) 受講方法（対面・オンライン）に関する受講者の意識

対面での研修とオンラインでの研修について、受講のしやすさやメリット、課題等についてあなたが普段感じていることをお書きください。

ア 対面での研修、オンラインでの研修について、そのメリットとデメリットを受講者がどう感じているか、自由記述を分類し抜き出したところ、回答数は次のようになった。（受講者に、対面型研修とオンライン型研修についてそれぞれ回答を求めた。自由記述から、それぞれのメリット・デメリットについて抜き出してカウントした結果となっている。）

【表3】対面型研修とオンライン型研修のメリット・デメリット

| | | 回答数 (n=464) |
|----------|-------|----------------|
| 対面型研修 | メリット | 228 |
| | デメリット | 44 |
| オンライン型研修 | メリット | 148 |
| | デメリット | 86 |

イ それぞれ多かった意見は次のとおりである（記述の内容を要約し、多い順に提示 カッコ内は回答数）。

(ア) 対面型研修のメリット

- ・コミュニケーションが取りやすい、つながりづくりがしやすい。(104)
- ・場の雰囲気（空気感）、熱量を感じやすい。(41)
- ・集中して受講できる。(26)
- ・学びの質・深まり・理解 (22)
- ・講師の話を直接聞くことができる。講師の雰囲気・熱量を感じる。(13)

(イ) 対面型研修のデメリット

- ・移動にかかるコスト（時間・距離・労力等）がかかる。(35)
- ・緊張感があり、疲れる。(3)
- ・予定・時間取りにくい。(3)

(ウ) オンライン型研修のメリット

- ・移動にかかるコスト（時間・距離・労力等）がかからない。(68)
- ・受講しやすい方法、場所で受講できる。(39)
- ・リラックスして受講できる。集中できる。(18)
- ・手軽に受講できる。(13)

(エ) オンライン型研修のデメリット

- ・コミュニケーションが取りにくい、つながりづくりがしにくい。(18)
- ・会場の雰囲気、受講者の様子が感じにくい。(14)
- ・通信環境や機材のトラブル、タイムラグがあると受講しにくい。(10)
- ・オンラインが苦手なため受講しにくい。(10)
- ・緊張感がない、集中できない。(10)

(4) 学習効果について

研修の内容に関する質問項目の「関心・意欲」、「知識・理解」、「スキル」、「コミュニケーション」についてまとめた。前述の通り、「関心・意欲」、「知識・理解」、「スキル」については、研修内容に合わせて質問内容を修正し、特定の項目について2つの質問をしている場合があるため、各項目でのサンプル数は異なっている。

ア 「関心・意欲」

～により、～しようとする意識（意欲）が高まりましたか。

対面型研修では、10 研修でこの項目に関する質問をした。うち、質問を2つしている研修が1 研修。オンライン型研修では、9 研修でこの項目に関する質問をした。うち、質問を2つしている研修が1 研修。

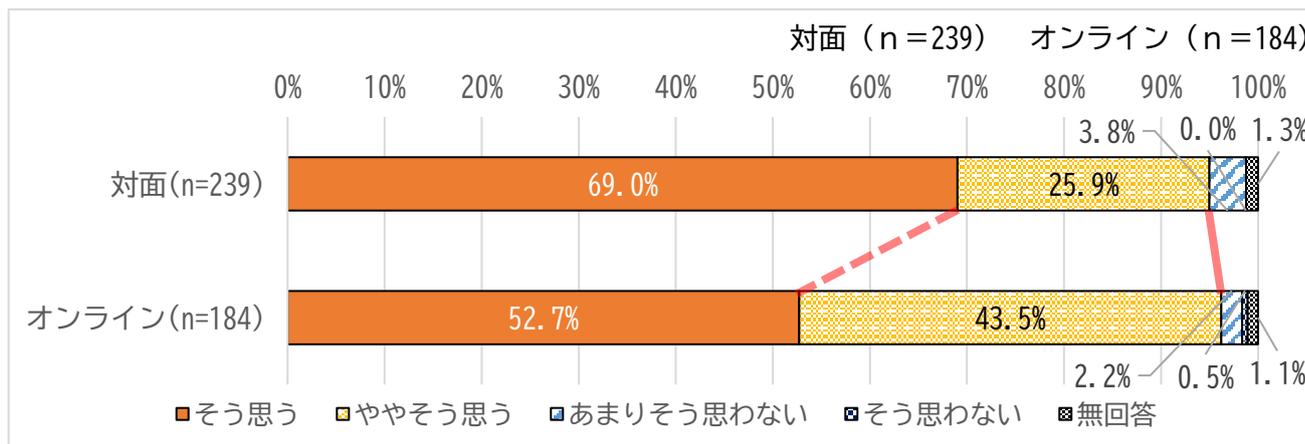


図7-1 関心・意欲を高める学習効果

- ・「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、対面型研修もオンライン型研修も大きな差は見られない。
- ・「そう思う」と回答した割合は、対面型研修の方が16.3ポイント高く、より「関心・意欲」が高まる傾向が見られた。

イ 「知識・理解」

～について知ることができましたか。～について理解を深めることができましたか。

対面・オンライン共に、全ての研修でこの項目に関する質問を行った。うち、質問を2つしている研修が2 研修。

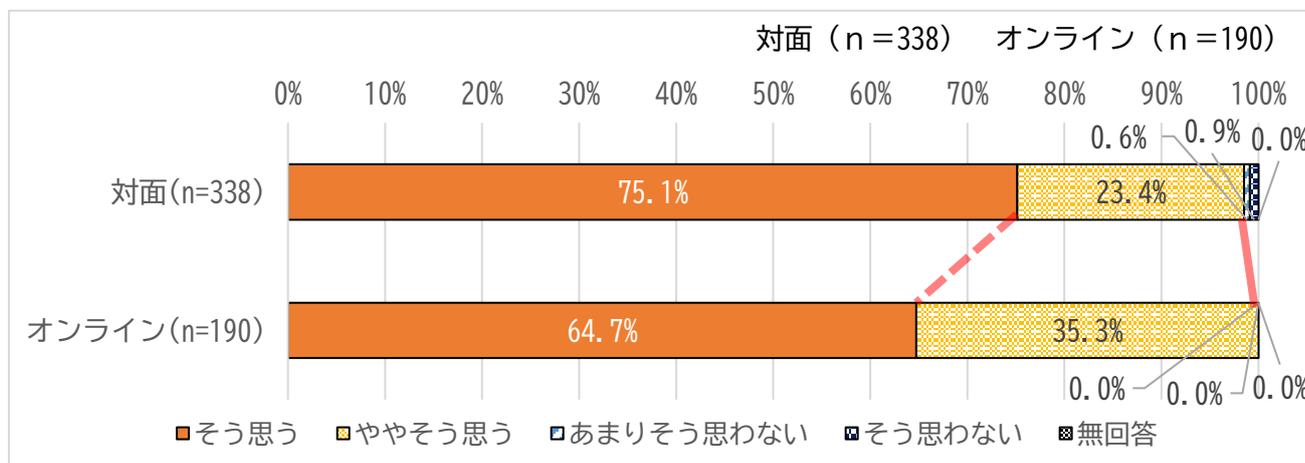


図7-2 知識・理解を深める学習効果

- ・「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、対面型研修もオンライン型研修も大きな差は見られない。
- ・「そう思う」と回答した割合は、対面型研修の方が 10.4 ポイント高く、より「知識」を得たり「理解」したりすることができたと感じる傾向が見られた。

ウ 「スキル」

～のスキルアップにつながりましたか。～について考えることができましたか。

対面型研修・オンライン型研修共に、2 研修でこの項目に関する質問を行った。

※オンライン受講者のサンプル数が少ないため、ここでは結果を提示するにとどめる。

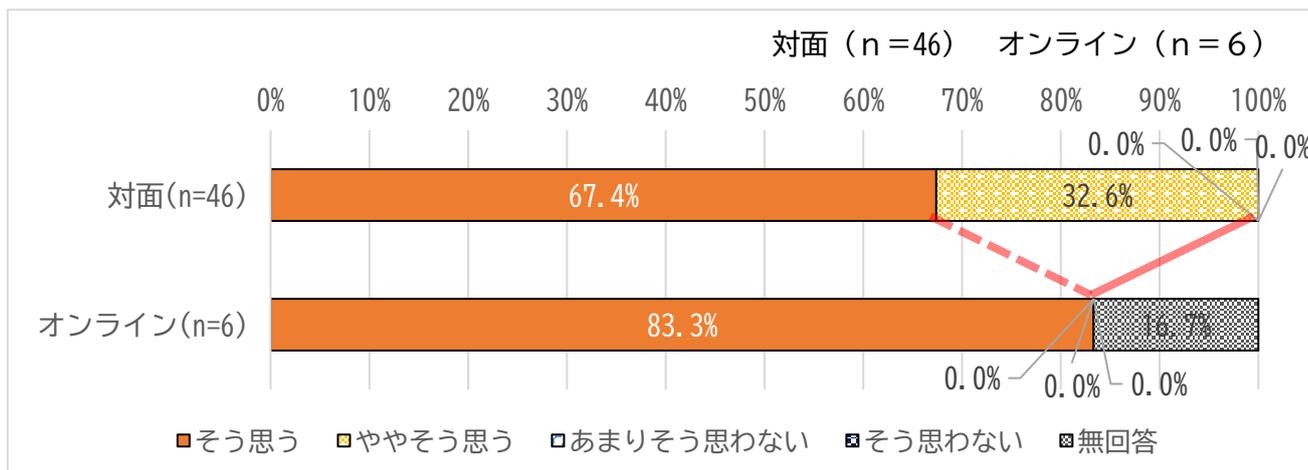


図7-3 スキルを高める学習効果

エ 「コミュニケーション」

受講者同士でのコミュニケーションは十分に取れましたか（休憩中も含む）。

対面型研修・オンライン型研修共に、8 研修でこの項目に関する質問を行った。

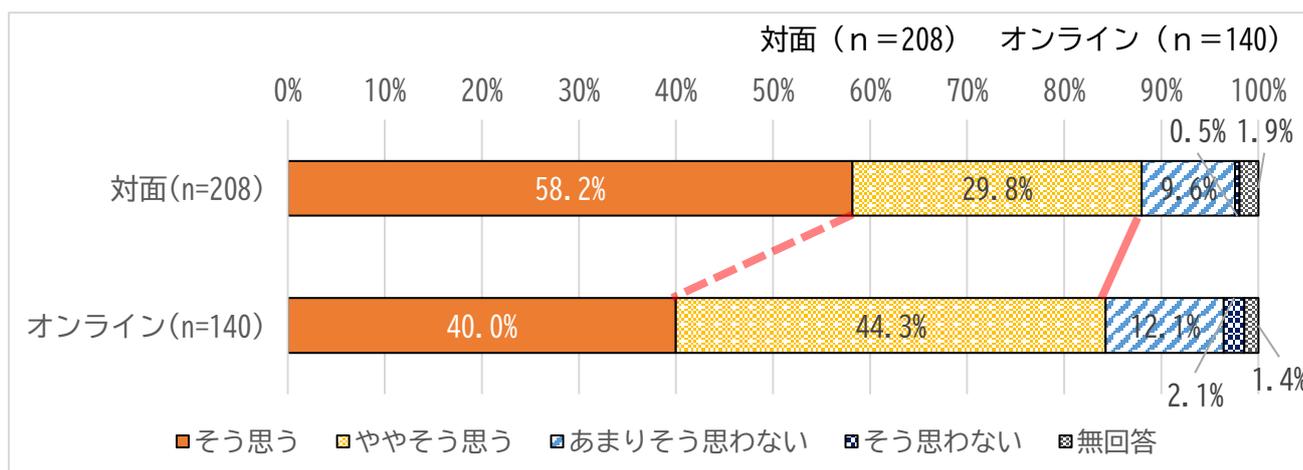


図7-4 コミュニケーションを高める学習効果

- ・「そう思う」と「ややそう思う」を合わせると、対面型研修もオンライン型研修も大きな差は見られない。
- ・「そう思う」と回答した割合は、対面型研修の方が 18.2 ポイント高い。対面型研修の方がより「受講者同士のコミュニケーションが十分に取れた」と感じる傾向が見られた。

(5) 受講方法に関する受講者の指向（評価）について

ア 受講方法（対面・オンライン）による研修の満足度

あなたが選択した（本日の）学習方法（対面・オンライン）によって、満足できる研修になりましたか。

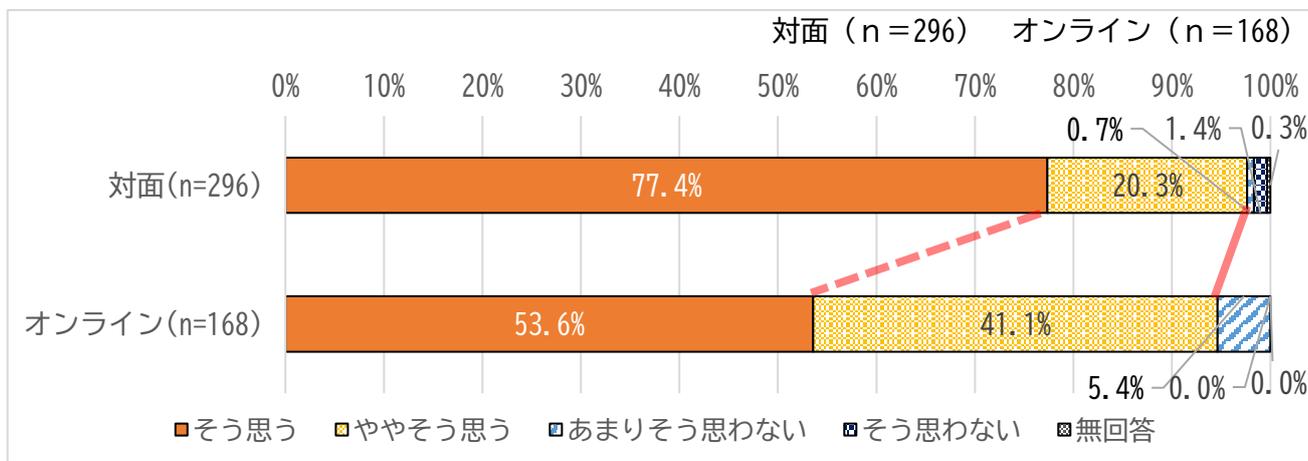


図8 受講方法（対面・オンライン）による研修の満足度

- ・「そう思う」と「ややそう思う」を合わせると、対面型研修は97.7%、オンライン型研修は94.7%である。対面型研修もオンライン型研修もおおむね満足できる研修であったといえる。
- ・対面型研修の方が「そう思う」と回答した割合が23.8ポイント高く、より満足度が高いことが分かる。

イ アで「そう思う」と回答した要因

それは、何によるものですか。下記ア～シの当てはまるもの全てに○を付けてください。

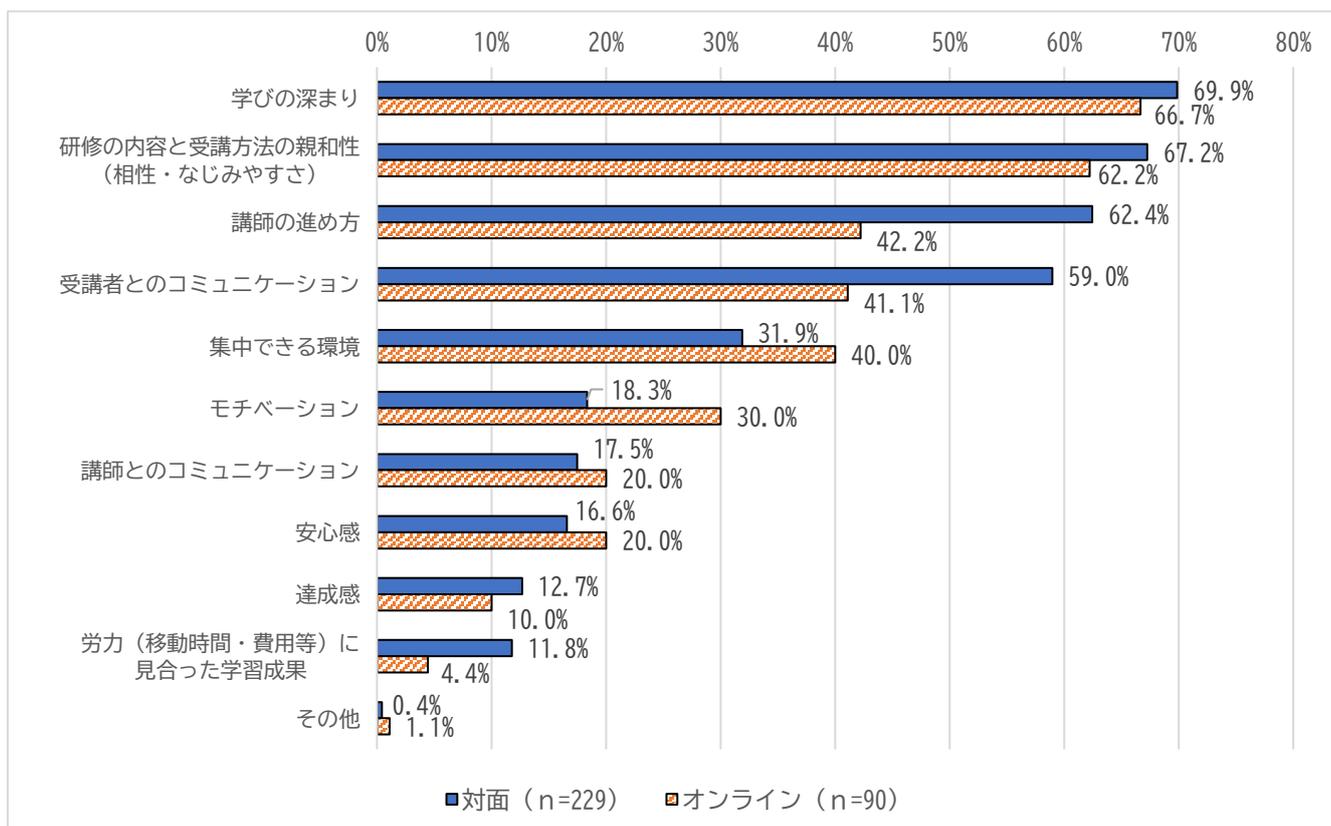


図9 「そう思う」と回答した要因

- ・対面型研修で「そう思う」と回答した人が挙げた要因の上位が、「学びの深まり」(69.9%)、「内容と受講方法の親和性(相性・なじみやすさ)」(67.2%)、「講師の進め方」(62.4%)、「受講者とのコミュニケーション」(59.0%)である。
- ・オンライン型研修で、「そう思う」と回答した人が挙げた要因の上位が、「学びの深まり」(66.7%)、「内容と受講方法の親和性(相性・なじみやすさ)」(62.2%)である。続いて、「講師の進め方」(42.2%)、「受講者とのコミュニケーション」(41.1%)、「集中できる環境」(40.0%)である。

(6) 学びや受講者同士のつながりの活用について

本日の学びや他の受講者とのつながりを今後の活動にどのように生かしていきたいとお考えかお書きください。(自由記述)

対面型研修受講者(n=239)から231、オンライン型研修受講者(n=184)から80の回答があった。コミュニケーションやグループワーク等に関するマイナスの点や課題についての回答があったため、それぞれ抜粋して以下に示す(記述の内容を要約し、多い順に提示 カッコ内は回答数)。

○対面 (1)

- ・他の受講者とのつながりやコミュニケーションはあまりなかった。

○オンライン (8)

- ・他の受講者とのつながり、関わりがもてなかった。聴講するのみだった。(5)
- ・グループワークにおいて、ワークの内容が行えなかった。
- ・深い話合いになりにくい。
- ・マイクの不具合。